



BNPパリバ インベストメント・パートナーズ株式会社

2010年12月8日

**BNPパリバ インベストメント・パートナーズ、
クリーンエネルギー投資において4.37億ユーロの運用資金を調達**

2010年12月6日 パリ発 - BNP Paribas Clean Energy Partners GP Ltdは、機関投資家からのクリーンエネルギー・インフラストラクチャーへの高い投資需要を受けて、同投資の最終的な運用資産の総額が4.37億ユーロに到達したと発表しました。

このクリーンエネルギー・インフラストラクチャー戦略は安定したキャッシュ・フローに加え、投資期間におけるキャピタル・ゲインの可能性によって、堅実なリスク・リターン・プロファイルを提供することを目指しています。同戦略では技術的に十分検証済みであるクリーンエネルギー技術の風力発電、太陽光発電、小規模水力発電、バイオマスなどに特化して投資、運用を行っています。

BNPパリバ クリーンエネルギー・パートナーズの CEO（最高経営責任者）であるヨースト・ベルグスマ（Joost Bergsma）は「投資家の皆様からご支持いただき、大変光栄に思います。欧州域内におけるクリーンエネルギー戦略の可能性と成長性に対する期待感に加え、私どもの提供する専門知識と実績を伴った投資機会を認めていただいた結果だと自負しております。」と述べています。

BNPパリバ インベストメント・パートナーズのオルタナティブ・セールスの責任者であるニコラ・リベス(Nicolas Ribes) は以下の通り、コメントしています。

「数あるオルタナティブ運用商品の中でも、クリーンエネルギー・インフラストラクチャー戦略への投資需要がますます拡大しています。中でもBNPパリバ クリーンエネルギー・インフラストラクチャー戦略の持つ高い収益力と運用チームの実績が、投資家の皆様に高く評価されました。」

BNPパリバの クリーンエネルギー・インフラストラクチャー戦略は、オランダ、ベルギー、ドイツ、英国、スウェーデン、日本における保険会社、地方自治体、年金基金などの機関投資家から、4.37億ユーロの資金調達を実現しました。これはクリーンエネルギーを対象とする戦略としては欧州で最大級の資産規模となります。

同戦略では、既にイタリアの太陽光発電、フランス、アイルランドの風力発電など複数の投資実績がありますが、今後は同様のプロジェクトに加えて、バイオマスを含む新たなプロジェクトにおいても投資機会を追求してまいります。